

先端事例に学ぶ 「リスクマネジメント体制」の構築 法人向けセミナー

東京 11月30日（水）TKPガーデンシティPREMIUM丸の内パシフィックセンチュリープレイス
（定員：100名）14:00～17:00（受付開始13:30）千代田区丸の内1丁目11番1号パシフィックセンチュリープレイス丸の内13F

新型コロナ、地政学リスク、気候変動……ここ数年、企業は予測困難なリスクに襲われ、その急激な変化に素早く、かつ的確に対応しなければならないという厳しい情勢が続いています。

このような状況のもと、本年10月にはOECDとG20が一般企業へのリスク専門委員会の設置を推奨する新しいコーポレートガバナンスの原則案をまとめるなど、国際的にもリスクマネジメント体制強化の要求が高まりつつあります。“VUCAの時代”といわれる今、企業はどのようにリスクマネジメント体制を再構築すべきなのか？

今セミナーでは、国際的視野に立った専門家からの意見と、第一線で活躍するリスク管理担当者によるディスカッションを踏まえ、これからのリスクマネジメントを考えます。

14:00 理事長あいさつ

一般財団法人リスクマネジメント協会 理事長
RIMS 日本支部 支部長

神田 良



14:05 RIMS 理事長からのビデオレター

2022年度 RIMS 理事長/テキサスロードハウス 副社長
パトリック・スターリング



14:15 問題提起

ISOから見たリスクマネジメントの課題！

QMS（品質管理システム）に代表されるISOマネジメントシステムは、2015年版より、リスクと機会への取り組みをいっそう重視した構成になっています。長年、ISO認証の経営、普及に努めてきた立場から、ISOマネジメントシステムを効果的に運用してリスク管理をしている組織の運営体制について提言します。

一般財団法人日本科学技術連盟 専務理事

小野寺 将人



14:45 休憩

お申込み

- ・協会ホームページまたは右のQRコードからお申込みください。
- ・定員となり次第、締切とさせていただきます。
- ・参加費は当日受付にてお支払いください。



お申込みフォームQRコード

14:50 パネルディスカッション

実効力のあるリスクマネジメント体制とは！

内閣府の「BCPに関する実態調査」によれば、大企業の約70%が既にBCPを策定。しかし、それが役に立ったとする回答は僅か50%ほどという結果が発表されました。その要因は何なのか、そして同じことがリスクマネジメントにもいえるのではないだろうか。

このパネルディスカッションでは、リスクマネジメントの推進に取り組む企業の事例から、実効力のあるリスクマネジメント体制づくり構築のポイントを明らかにします。

モデレーター

株式会社新建新聞社 専務取締役
リスク対策.com編集長

中澤 幸介



パネリスト

花王株式会社
コーポレート戦略部門
危機管理・RC推進部 部長

静野 聡仁



JX金属株式会社
総務部リスクマネジメント室
リスクマネジメント担当課長

藤山 昌志



16:20 協会からのお知らせ

16:30 名刺交換・交流タイム ※17:00 終了

参加費

協会法人会員 (RIMS 日本支部会員) TODAY 会員	協会情報会員	一般
無料	1,000 円	3,000 円

※コロナウイルスの感染状況により、プログラムが変更になる場合があります。また、テーマ・内容も変更する場合がありますので、予めご了承ください。
※当日は撮影が入ります。併せてご了承ください

詳細・お申込みはリスクマネジメント協会ホームページにて

<https://www.arm.or.jp>